

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 10 月 31 日（土）

開会：午前 10 時 00 分 閉会：午前 11 時 40 分

場所：瀬古泉集落センター

参加者：男 21 人、女 6 人 計 27 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 先ほど、中部公園にはたくさんの方が来てくれているという話でしたが、あそこでは店屋物とかはできないのですか。そういうところでお金を落としてもらったらだいぶ儲かるんじゃないですか。

町長 私にも中部公園ができたころの話はよく分からないのですが、当時はお金がかかるからやめたそうですが、レストランが入るといふ図面があったそうです。今でもパーベキューの施設がありますよね。あそこは場所を貸すだけなんです。そうじゃなくて、手ぶらで来てもらって、材料から全て場所と一緒に用意したら利益があがるんじゃないかという話もしているんですが、なかなかやってくれる人がいません。今言ってもらったことは、工夫すればできないこともないので、何とかやっていきたいと思えます。今一番の稼ぎは、パークゴルフで 1000 万円弱くらい、公園の管理費は 4000 万、つまり 3000 万円は持ち出しなんです。少なくとも、4000 万円稼ぐことができれば、維持管理に税金を使わなくて済むわけです。そういうこともしっかり考えていかなければと思っています。

男性 今の話と関連して、社会福祉法人いずみのくろがねも一ちつてありますよね。あそこがレストランなのでもう少し PR するとかはどうでしょう。行ったことはありますが、何度も足繁く通うようなところではないなと。もう少し大衆的にしたら、公園に来た人も行けるんじゃないかなと思います。日曜日は営業していないですよね。

町長 初めは日曜日もやっていたんですが、一年間の実績として、日曜日が一番お客さんが少ないらしいです。月曜日休みだったのを変更して日曜日休みにしたという経緯があるんです。公園に来てくれるお客さんが入ってくれるかなと思っていたら、どうもそれとは別らしいんです。あの公園には遊具があるので、子供連れの方が来るんですが、子どもを連れて若いお母さんがあのレストランを利用するのは、厳しいみたいなんです。だからそういう人は弁当を持ってくる人が多いらしいです。私も週に 2、3 回ほど利用しますが、お金に余裕のある高齢者の方でけっこう賑わっています。あれは、

社会福祉法人いずみが経営していますので、今お伺いしたことは、そちらに伝えさせてもらいます。

男性 もうひとつ、東員町に若い人が入ってきてくれているという話がありましたので、以前から皆さんが言われているように、インター近辺で働く場所を開発するような計画はありますか。

町長 皆さんからよく質問を頂くのですが、なかなか難しいんです。インター出口の周り、300mは農振農用地であろうが開発できるんですが、その周りはほとんどイオン、南側は山でほとんど土地がないんです。1キロ以内の範囲では、物流ならやってもいいといわれているのですが、これもなかなか難しい。今の東員町には、企業を誘致するような土地はほとんどないんです。企業誘致はなかなか難しいので、町内でお金を回す仕組みを作っていないといけないと思っているんです。例えば、日本人は1人につき、1年間に平均110万円の物を買うそうです。そのうちの1%、年間に1万円だけ、地元のものを購入してもらくと、単純計算で2億5000万円のお金が町内で回ります。そうすれば年収500万円の人の雇用が50人分生まれるんです。これからはこういうことを考えていかないといけない。東員病院の横に土地はありますが、あそこは民間の土地なので、難しいんです。小さな企業に来てもらうというのは、一つの手ですが、もう一つは町内でお金を回す仕組みを皆さんで作ってもらうことだと思います。

男性 笹尾・城山のごみは、軒先に置いておくと、業者が回収していくという形だと聞いているんですが、この費用はどれくらいですか。人口減少、歳出の見直しなど問題がある中で、住んでもらうための集客の時期はもう過ぎたのかなと思うんです。在来では、集積所に出していますので、笹尾・城山地区では、今いくらかかっているのか、集積所を建てるならいくらかかるのか、それが難しいなら、20軒ごとにまとめてもらうなどすれば、多少なりとも、歳出の見直しになるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

財政課長 ごみの収集にかかる費用ですが、委託料という形で、全体で3800万円ほどが平成26年度の決算となっています。在来とネオポリスの別々の資料は今はありません。

町長 おそらくですが、かなり費用はかさんでいると私は思います。それと、収集車の消耗品も、ブレーキなどの関係で消耗が激しいと思います。これは前から議論してきて、特に在来地区の方からおかしいという意見を頂いています。しかし今は、ごみを集める拠点を作れないという理由で、集積所の案は却下されています。ただ、団地の自治会長さんなどから、拠点回収にして自治会加入率を上げたいという話も聞きます。最近では、高齢になると自治会を抜ける人もいるそうで、それを防いで、みんな

でやりましょうというために拠点回収にしてほしいと言う方もいます。そういう方は少ないですが、どちらにしても、行政として見直さないといけないと思っています。財政的にも厳しくなるので、このまま問題にしないでいくことはありえません。個別回収ではなく拠点回収へ変えていかなければと思っています。

男性 もう一つ、笹尾・城山地区の話ですが、笹尾・城山に一つずつ、シニアクラブがありますよね。全国的にも会員増が言われており、1自治会1シニアクラブができるよう、行政の支援をいただきたい。活動が活発になり、高齢者の活躍の場にもつながると思うので、併せてお願いします。

町長 今、笹尾に睦会、城山に喜楽会というのがありますが、喜楽会は対象人口が3000人ほどなのに実際入っているのは50数人なんです。睦会は少し多くて5000人近くが対象で、入っているのは200人ほどなんです。対象者は8000人ほどいるのに補助金がいくのは、250人ほどなのはおかしいと私は思います。ですので、各自治会でシニアクラブを作って運営してほしいと思います。解散させるわけではありませんが、来年度から国からの補助金は別として、町からの補助金は自治会毎のシニアクラブを対象に出すと方針を決めています。このことについては、3年前から話をしていますので、ご主旨のように決着をつけたいと思います。補助金の問題ではなく、これから笹尾・城山地区は高齢化が進み、見守りが必要になりますが、それは、自治会ごとじゃないとできないんです。そういう風に組織してほしいので進めていこうと思っています。

男性 マイナンバーのことですが、我々はまだ良く分かっていないんです。メリット・デメリットがあるのかも分からない。聞くところによると、洗いざらい何でも分かってしまい、儲かるのは税務署だけだと聞いています。少しでいいので分かりやすく説明してください。

財政課長 マイナンバーの活用法で、主な点は、社会保障と税、災害の関係になります。社会保障で言えば、マイナンバーにより、例えば給付を受けられていない人が明らかになったり、誰のものか分からない年金の所在がはっきりしたりすると思います。税については、公正で公平な社会のため脱税などが無いよう、もれなく税金を集めることができます。災害については、災害で通帳などを紛失した場合でも、マイナンバーで本人確認ができるようになります。税の申告や住民票のコンビニ交付は活用方法のほんの一部で、公正で公平な社会を目指すとともに、行政手続きで煩雑になっている部分の利便性を高めて、行政事務費用の削減を目指すことなどが大きな目的となっております。

男性 税金が10%になったら、買い物のときに、マイナンバーカードを出さないといけないと聞いているんですが、カードを持ち歩いていたらそのうち、カードを紛失する人

が出てくる。カードに写真を載せてない人で、ほかの人に使われたらとんでもないことになる。

財政課長 食料品などの買い物もマイナンバーカードが無いと税金が還付されないといった報道もありましたが、その制度の導入は見送られたようです。

男性 マイナンバーカードを申請しないとどうなりますか。

財政課長 プラスチックのマイナンバーカードは申請しないと交付されませんが、紙の通知カードはありますので、申請書などに手書きでマイナンバーを記入することはできますが、電子証明としては使えません。

男性 番号さえ分かればいいんだから、マイナンバーカードは必要ない。

町民課長 マイナンバーカードですと、それ一枚で身分証明書になりますが、通知カードですと、ほかに運転免許証などの身分証明書が必要になります。

男性 最近ハッカーとかもいるから、番号が悪用されるんじゃないかと思うと心配だ。今でもデータを盗まれるとか聞くし。それと、これは国内で住民登録していない人には、付番されないんでしょ。

町民課長 住民登録をしていない人には付番されません。海外に在住している人にも付番されません。

男性 これは自治体ごとにやり方が違うのか。ほかの市町に行くと貯金も管理されたりするんですか。

財政課長 国で決められている部分は、どこの市町も同じですが、さきほどのコンビニ交付などについては、導入するしないは、市町の自由です。

男性 コンビニで発行できるのは、住民票だけですか。

財政課長 現在、本町の証明書自動交付機で発行できるものは全てです。

男性 災害に関することなんですけど、水害について、どのような考えで取り組まれていますか。鬼怒川の決壊のように、河川の中に泥がたまって水路がなくなって堤防が決壊して水害が起きるようなこともあると思うんですが。河川の整備などは定期的にやらないと事故が起きます。

町長 員弁川では、やっとう東員町の下流から河床掘削が始まりました。今後東員町の上流に向かって、河床掘削されるということです。昔は砂利が高く売れたので、よく採ってくれたのですが、最近は砂利も売れなくなり、あまり採ってくれなくなりました。しかしそれでは、いけないということでずっと県に要望し、ようやく今年から掘削が始まりました。右岸側に道路もあるため、決壊することは無いでしょうが、道路を越えてあふれることもあるため、河床掘削しかないとされています。しかし、県によると、あまり深く掘ってしまうと、国道1号線や鉄道の橋梁がもたないそうです。そちらの補強も必要で、全ての作業が完了するには、30～50年かかるといわれています。

男性 私が一番心配しているのは、藤川でたくさん泥がたまっています。ああいうのは下の方までやらないといけないと思うので、1自治体ではできないと思うんです。

町長 藤川も県の管轄なので何もできないんです。藤川、戸上川などの掘削や河川改修については、県に要望しているんですが、お金が無いためか順番だといわれています。木の撤去くらいはしてほしいと思うんですけど。言い続けるとやってももらえないので、言い続けていこうと思います。

男性 国はすぐにお金がかかるからというけれど、災害が起きたときのほうがお金がかかるんだから何とかしてもらわないと。

もう一つ、今選挙区の見直しをしていますよね。鳥取県とか人の少ないところは国会議員が減らされたりとか。地方創生というのにそういうことをしていたら、地方の意見なんて通らないんじゃないかと思うんです。そういう点について、地方自治体はどういう風に考えているのかなと思うんです。

町長 今国が進めている地方創生は本当に地方創生なのかなと思います。いろいろな制度を見ても、東京に一極集中しているように見えるのですが、我々地方が叫んでも何も届かない。個人的には、県を合区するなんてとんでもないと思います。島根と鳥取を一緒にしても、互いのことは分からないと思う。民主主義は数の理屈ですから、本当に民主主義がいいのかということから考えていかないと、地方の意見はなかなか集約されない。やはり過疎地域の意見を集約する制度は絶対必要だと思うんです。何でも数だけで決めることは、本当にいいのか、私は疑問を持っています。個人的な見解ですが。